

事業名称	人権ネットを活用した地域活性化事業		
実行委員会	人権ネットを活用した地域活性化事業実行委員会		
中核館	水平社博物館		
	住所	〒639-2244 奈良県御所市柏原 235-2 水平社博物館内	
	TEL	0745-62-5588	FAX 0745-64-2288
	ホームページ	http://www1.mahoroba.ne.jp/~suihei	
構成団体	公益財団法人奈良人権文化財団、おおくぼまちづくり館保存事業運営委員会、奈良県立同和問題関係史料センター、一般財団法人奈良人権部落解放研究所、御所市 NPOほっとねっと、公益財団法人大阪人権博物館、人権資料・展示全国ネットワーク		
事業開始時点の課題分析	2015年に日本で初めてFIHRM（国際人権博物館連盟）に加盟した中核館の水平社博物館は、「人権資料・展示全国ネットワーク」（略称：人権ネット）と連携し、日本の人権に関する取り組みを国際的に発信している。FIHRMの結成は人権のグローバル化を示しており、国内においても人権尊重に重点を置いた事業展開は必須であり、特に子どもたちを含め日本の次代を担う若年層の研究者や学芸員の人権意識を高めることは、世界で活躍する人材育成には必要不可欠であり、ますます重要な課題となっている。		
事業目的	子どもたちを中心に人権を尊重する人材育成と博物館の利用促進を目的に、また、学芸員を含め博物館関係者や地域住民の人権感覚を磨くことを目的として本事業を展開する。さらに、地域文化や人権文化の国際的発信拠点としての役割を視野に、アジア太平洋地域「世界の記憶」を活用した世界的な人権交流の促進や、人権情報収集、人権文化の高揚と多様な文化の理解促進に資することを目的として本事業を展開する。		
事業概要	学校教育と連携した人材育成事業として、子どもたちや教員を対象に地域産業を通じた体験講座を開催する。また、子どもたちを対象に無料入館パスポートを発行する。学芸員や博物館関係者などを対象に、「世界の記憶」などを活用した博物館の国際発信を促進する国際シンポジウムを開催し、博物館の国際発信力の強化や活性化を図る。国際交流事業として、カナダで9月に開催されるFIHRM大会に参加し、日本の人権関係博物館の取り組みと課題を発表するとともに、ICOM京都大会への参加を呼び掛ける。		
実施項目・実施体系	<p>(1) 地域文化の発信の核となる美術館・歴史博物館</p> <p>■ア 美術館・歴史博物館の情報発信、相互連携</p> <p>□イ ユニークベニューの促進</p> <p>■ウ 地域のグローバル化拠点としての美術館・歴史博物館</p> <p>■エ 地域に存する文化財を活用した地域共働の創造活動や地域の魅力の発掘・発信</p> <p>(2) あらゆる者が参加できるプログラム及び学校教育や地域の文化施設等との連携によるアウトリーチ活動</p> <p>■ア 小・中・高等学校と連携した地域文化の担い手の育成</p> <p>□イ 大学等と連携した国内外で活躍する文化人材育成プログラムの開発</p> <p>■ウ 社会人ほか多様な対象者のための学習講座の実施</p> <p>□エ 障がい者の芸術活動支援・鑑賞活動支援等の事業</p> <p>(3) 新たな機能を創造する美術館・歴史博物館</p> <p>■ア 観光・まちづくり・国際交流・福祉・教育・産業等他分野との連携・融合による活動</p> <p>□イ 文化財の新たな保存管理・活用の手法の開発</p>		
施後の成果・効果等	本事業の実施により、人権関係博物館の利用者が増加し、地域博物館の活性化が今後期待できる。また、国際的で多様性を尊重する視点を育成することにより、幅広い人間関係が構築されるとともに、その生き方が豊かなものとなり、博物館や人的交流の活性化につながった。国際シンポジウムの開催や国際交流は、学芸員を中心とした博物館関係者の人権意識の高揚と多様な文化への理解促進につながった。また、共有化された人権情報は、博物館の事業を通じて未来を創造する子どもたちの育成に活かされることが期待できる。人権に重点をおき、子どもたちの将来を見据えたこの事業は、その波及効果が大きく、今後も継続されることが望まれる。		

【事業実績】

学校教育と連携した人材育成活動及び人権尊重に向けた国際交流事業を実施した。

1. 学校教育と連携した人材育成活動

(1) ミュージアムパスポートの発行

＜成果物＞

ミュージアムパスポート(3500部)御所市内の小学生(4年生以上)、中学生、高校生に配布



(2) 体験講座の実施

8月22日 ミニ下駄キーホルダー製作 参加者5人

8月9日 レザークラフト体験講座 参加者3人

12月25日 ミニ下駄キーホルダー製作 参加者28人

2月8日 レザークラフト体験講座 参加者15人



2. 国際発信及び情報収集・国際交流のための各種事業の展開

(1) 国際シンポジウムの開催(10月27日国際シンポジウム)

水平社博物館20周年記念 国際シンポジウム「水平社創立の思想を世界へ」

日程：2018年10月27日(土)

会場：橿原文化会館小ホール

参加者：107名

＜成果物＞報告書

＜アンケートより＞

- ・まだまだ詳しくお話聞かせていただきたい。各国の人権問題も知りたい。
- ・水平社、衡平社について、深い背景についてまでのことを聞かせていただき、興味深かった。勉強させていただく機会、貴重な時間となった。歴史を知ることが、今を、未来を考える大きな材料になると思う。



(2) 国際発信のための関連行事の開催(FIHRM大会での情報収集、発信)

FIHRM(国際人権博物館連盟)ウィニペグ大会(カナダ)参加

日程：9月22日(土)～30日(日)(大会9月25日～28日)

＜現地での活動＞

- ・ウィニペグ市内博物館見学
- ・大会での発表
- ・大阪人権博物館の支援PR
- ・ICOM京都大会のアピール
- ・ICOM京都大会のオフサイトミーティングの提案

＜成果物＞

報告書

